

令和3年度 当初予算（案）

主な事業の説明書

生涯学習部

款	項	目	大	事	業	ページ
10	5	2	13	学	校・家	庭・地
				域	連	携
				綜	合	推
				進	事	業
				費		9 - 1
10	5	3	18	太	田	文
				化	プ	ラ
				ザ	改	修
				事	業	費
						9 - 2
10	5	3	20	刈	和	野
				大	綱	展
				示	場	整
				備	事	業
				費		9 - 3
10	5	5	17	大	仙	市
				音	楽	祭
				開	催	経
				費		9 - 4
10	5	6	14	払	田	柵
				跡	環	境
				整	備	事
				業	費	
						9 - 5
10	5	6	17	旧	池	田
				氏	庭	園
				整	備	事
				業	費	
						9 - 6
10	5	6	27	角	間	川
				・	川	の
				ま	ち	歴
				史	交	流
				の	杜	整
				備	事	業
				費		9 - 7
10	6	1	17	多	目	的
				人	工	芝
				グ	ラ	ウ
				ン	ド	整
				備	事	業
						9 - 8
10	6	1	21	全	国	5
				0	0	歳
				野	球	大
				会	関	係
				費		9 - 9
1	1	1	10	ス	キ	ー
				場	運	営
				費		9 - 10

※部毎に款・項・目・大事业の順番とする。

事 業 説 明 書

10 款 5 項 2 目 13 事業

(施策の大綱) 生涯学習の推進

(施策) 学習機会の充実と社会参加活動の支援

(基本事業) 地域資源を活かした学校
連携とボランティア活動の支援

拡充

所名：生涯学習部 生涯学習課

『事業名』 **学校・家庭・地域連携総合推進事業費**

【R3年度】 **4,841 千円** 【R2年度】 **4,217 千円** 【増減額】 **624 千円**

※R3年度事業費の財源内訳

国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
	2,806			2,035

※学校・家庭・地域連携総合推進事業費補助金

1. Plan (計画：事業の目的及び目標)

幅広い地域住民や企業・団体等の参画により、子どもたちの成長を支え、地域を創生する活動（地域学校協働活動）を推進することにより、地域社会全体の教育力の向上と地域住民の生きがいづくりを創出し、地域の活性化や未来にわたって子どもたちが安心して暮らし続けたいと感じる地域づくりを推進する。

2. Do (実行：これまでの実績と成果)

【令和2年度実績】

- ①地域学校協働活動推進員設置要綱を制定し、統括推進員と推進員を配置 計24人（前年比8人増）
- ②協働活動 10本部
- ③放課後子ども教室 30教室（前年比6教室増）

【成果】

統括推進員及び推進員協議会を設置したことにより地域学校協働活動を推進する体制がより整備され、推進員の人材発掘・育成に繋がった。
新型コロナウイルスの影響で子ども達の学びや体験の機会が減少してしまっている現状を踏まえ、放課後子ども教室と児童クラブが連携し「地域の先生出前講座」を13教室実施して、部局を越えた全市的な取組となった。

3. Check (評価：問題と課題)

- ・地域によって公民館と学校・推進員の関わり具合に差がある。
- ・地域と学校の思いが繋がり、活動を活発化・自立化するためには、合意形成の場が「見える化」されることが望ましく、学校教育分野及び地域からの理解と協力が必要となる。

4. Act (改善：今後の方向性とR3年度事業の概要)

令和3年度より中学校区毎に各地域公民館を本部とした体制を整備し、全市的に持続可能な事業体制づくりを強化する。大曲地域は中学校に本部を統一し事業を推進していく。
大曲地域の体制づくりの強化及び全市的な活動強化の具体化策としてコミュニティスクール導入を検討するため、学校教育分野にも精通する統括推進員がCS（コミュニティスクール）ディレクターを兼務し、多角的な事業の展開を図る。
公民館を軸に学校・家庭・地域が連携し地域学校協働活動本部のメニューとして放課後子ども教室・家庭教育支援事業を総合的に推進していく。

項目	R3		R2					増減理由
	学校家庭地域 連携総合 推進事業		学校家庭地域 連携総合 推進事業		市単独 事業	学校家庭地域 連携総合 推進事業	一般財源 比較	
	予算額 ①	一般財源 ②	予算額 ③	一般財源 ④	一般財源 ⑤	前年比較 ①-③	②-(④+⑤)	
共通経費	1,161	473	725	265	0	436	208	CSディレクターの設置(地域と学校を結ぶ場の具体化支援)
協働活動	1,860	748	2,031	909	0	△171	△161	事業内容の精査(学校支援から協働活動への移行)
放課後子ども教室	1,577	696	1,461	545	55	116	96	放課後児童クラブ連携事業拡充(地域差解消)
家庭教育支援	243	115	0	0	248	243	△133	市単独事業見直しによる当該補助事業へ組み入れ
合計	4,841	2,032	4,217	1,719	303	624	10	

事 業 説 明 書

10 款 5 項 3 目 18 事業

(施策の大綱) 行財政運営の効率化

(施策) 公共施設の効率的な運営

(基本事業) 施設の長寿命化の推進

継続

所名：生涯学習部 生涯学習課

『事業名』 太田文化プラザ改修事業費

【R3年度】 77,134 千円 【R2年度】 69,448 千円 【増減額】 7,686 千円

※R3年度事業費の財源内訳

国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
		73,200		3,934

1. P l a n (計画：事業の目的及び目標)

生涯学習活動や地域活性化活動の拠点施設として市内各地域に公民館が設置されている。安全・安心に利用していただくためにも築年数の古い公民館については公共施設等総合管理計画に基づき改修・改築を検討するとともに、緊急性の高い案件については修繕等により即時対応し、長寿命化を図りながら施設の維持管理に努めることを目的とする。

- 目標：事業期間4年を目途に改修

2. D o (実行：これまでの実績と成果)

- 【平成28年度】 太田生活改善センター（太田公民館）の一部を解体し、公民館事務室を太田庁舎内に移転
- 【平成29年度】 太田庁舎に隣接する太田文化プラザ遊休スペースを、減築した公民館機能の補完と地域防災拠点として利用するため改修工事の実施設計（建築分）
- 【平成30年度】 空調設備に関する改修工事の実施設計
- 【令和元年度】 屋上防水改修工事
- 【令和2年度】 外壁改修工事（アスベスト除去含む）

3. C h e c k (評価：問題と課題)

- ・近年は各種設備配管の漏水など発生しており、経年劣化による老朽化が著しい。
- ・平成28年度の太田生活改善センター（太田公民館）の一部解体によって失われた生涯学習スペースを補いつつ、地域の防災スペースとして併用できるような大規模改修が望まれている。
- ・現在空調設備が故障し、利用者が不便を強いられている状況である。

4. A c t (改善：今後の方向性とR3年度事業の概要)

当施設に生涯学習機能、集会施設機能、そして防災機能を集約することによって、より地域住民が利用しやすく安心・安全な拠点施設を目指す。

令和3年度は、経年劣化による故障が多い空調設備の改修を実施する。

【施設概要】

- 太田文化プラザ（正式名称：太田農村環境改善センター、太田支所となり）

昭和54年度建築（築41年経過） 鉄筋コンクリート造2階建て 延べ床面積 A=1,814.69㎡

【事業概要】

太田文化プラザ空調設備改修工事	73,391千円
”	工事監理業務委託 3,143千円
	設計監理業務委託 600千円
計	77,134千円

【令和4年度以降の計画】

- 内部改修工事（鈴木空如展示スペース改修含む）

- ・改修計画検討内容

風除室設置、外部スロープ、1F・2Fトイレ改修、生活実習室改修 他

事 業 説 明 書

10 款 5 項 3 目 20 事業

(施策の大綱) 芸術・文化の振興

(施策) 文化財の保存、整備、活用の推進

(基本事業) 文化財を活用した地域づくり

新規

所名：生涯学習部 生涯学習課

『事業名』 刈和野大綱展示場整備事業費

【R3年度】 62,818 千円 【R2年度】 0 千円 【増減額】 62,818 千円

※R3年度事業費の財源内訳

国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
11,600		44,700		6,518

1. P l a n (計画：事業の目的及び目標)

本事業は都市再生整備計画に基づき、地域伝統行事の継承・活用と文化・活動・交流の拠点整備として、西仙北中央公民館の改築を進めてきた。令和2年10月「大仙市立大綱交流館」として竣工し、西仙北地域を代表する「刈和野の大綱引き」の伝統継承と地域コミュニティ活動の活性化の為に活用されている。

令和3年度は「刈和野の大綱引き」のPRを高めるとともに、実際に大綱に触れることのできる体験型の施設として、JR刈和野駅前にある老朽化した刈和野大綱展示場の改築を行うものである。

●目標：刈和野大綱展示場整備事業 令和3年度事業進捗率 100%

2. D o (実行：これまでの実績と成果)

・築30年が経過した刈和野大綱展示場の改築

【令和2年度】 刈和野大綱展示場解体工事
 刈和野大綱展示場解体工事工事監理業務委託
 刈和野大綱展示場整備事業実施設計業務委託
 〃 地質調査業務委託

3. C h e c k (評価：問題と課題)

平成2年に建築されたJR刈和野駅前の刈和野大綱展示場は、木造一部2階建ての施設で、地域の伝統行事である国内最大級の「刈和野の大綱引き」のPRを目的に原寸大の大綱を展示しているが、建築から30年余りが経過し、建物本体の老朽化と展示している大綱の劣化が顕著となっている。本施設は、秋田新幹線が通る奥羽本線沿線にあり、乗客へのPR効果を高めるとともに、展示機能の強化により刈和野駅を起点としたまちなか回遊の促進を図り、伝統継承による地域活性化を目指すため改築する。

4. A c t (改善：今後の方向性とR3年度事業の概要)

西仙北地域の伝統行事である国指定重要無形民俗文化財「刈和野の大綱引き」のPRを目的に、老朽化した当該施設の改修を行う。

【施設概要】

●刈和野大綱展示場 (JR刈和野駅となり)
 鉄骨造平屋建て 延べ床面積 A=200㎡

【事業概要】

・建築関係経費

工事請負費	55,660 千円
工事監理業務委託	2,596 千円
設計監理業務委託	487 千円
計	58,743 千円

・その他経費

JR敷地賃借料	52 千円
完了検査手数料	23 千円
展示用大綱製作委託	4,000 千円
計	4,075 千円

合計 62,818 千円

事 業 説 明 書

10 款 5 項 5 目 17 事業

(施策の大綱) 芸術・文化の振興

(施策) 芸術・文化の振興

(基本事業) 芸術文化鑑賞・体験機会の創出

継続

課所名：生涯学習部 総合市民会館

『事業名』 **大仙市音楽祭開催経費**

【R3年度】 **3,113 千円** 【R2年度】 **3,147 千円** 【増減額】 **△ 34 千円**

※R3年度事業費の財源内訳

国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
			1,000	2,113

※入場料収入

1. Plan (計画：事業の目的及び目標)

- 目的：「音楽のまち大仙」として長年にわたり育んできた伝統と財産を、市民により身近なものとするため、「ひとづくり、きずなづくり、まちづくり」をコンセプトとした市民参加型音楽祭を開催して、音楽に触れ合うことのできる機会を提供する。
- 目標：「音楽を通して、人があふれるまちを創り出す」「子ども達の豊かな感性を育む」
「地元の音楽家を育てる」「コンサートを支える人を育てる」
「音楽を通じたふれ合いの場を創り出す」

2. Do (実行：これまでの実績と成果)

大仙市音楽祭2019

月日	時間	会場	公演名	入場料	委託料
11/9(土)	10:30~12:20	大ホール	企画公演①／小・中学生による演奏会	無料	
	14:00~16:00	小ホール	企画公演②／ソフesta入賞者、公募市民による音楽会	無料	
	17:00~19:00	大ホール	横濱音泉倶楽部「市民のためのジャズコンサート」	2,000円	※
11/10(日)	10:00~10:45	ホリエ	楽器体験コーナー	無料	
	11:00~12:00	大ホール	横濱音泉倶楽部「0歳からのジャズコンサート」	1,000円	※
	13:30~15:00	小ホール	企画公演③大仙市音楽祭オーケストラ 演奏会	無料	900千円
	14:00~17:00	大曲中学校	横濱音泉倶楽部クリニック		※
12/8(日)	13:30~15:30	大ホール	大いなる秋田大演奏会	無料	

※横濱音泉倶楽部委託料2,100千円

- ・平成29年度から新たにスタートした「大仙市音楽祭」は、令和元年度は参加団体（横濱音泉倶楽部ほか）からの協力のもと、地元団体等の企画を組み込み、延べ2,137名の方に鑑賞いただいた。
- ・運営には、大仙市音楽祭実行委員会を中心に、多くの高校生や保育士がボランティアスタッフとして携わり、来場者のアンケートでは、95%以上が「満足」「良かった」という感想をいただいた。
- ・令和2年度開催予定だった「大仙市音楽祭2020」は、新型コロナウイルスの影響により1年延期となった。令和3年度は令和2年度に予定していた内容で実施することを予定している。

3. Check (評価：問題と課題)

- ・ボランティア、出演団体との交渉など企画内容が多いので、実行委員の負担が大きい。
- ・公演内容や日程の見直しを行い、市民の声を反映させた音楽祭にする必要がある。

4. Act (改善：今後の方向性とR3年度事業の概要)

「音楽のまち大仙」として多くの市民が関わり、多くの市民が楽しめる音楽祭にするため、実行委員会が主体となって検討したプログラムを実施していく必要がある。なお令和3年度は、延期となった「大仙市音楽祭2020」で予定していた内容に基づき、引き続き横濱音泉倶楽部を核とした「大仙市音楽祭2021」として実施を予定している。

大仙市音楽祭2021 (素案)

月日	時間	会場	公演名	入場料	委託料
11/13(土)	10:30~12:20	大ホール	企画公演①／小・中・高校生による演奏会	無料	
	14:00~16:00	小ホール	企画公演②／ソフesta入賞者、公募市民による音楽会	無料	
	17:00~19:00	大ホール	横濱音泉倶楽部「市民のためのジャズコンサート」	1,000円	※
11/14(日)	10:00~10:45	ホリエ	楽器体験コーナー	無料	
	11:00~12:00	大ホール	横濱音泉倶楽部「0歳からのジャズコンサート」	1,000円	※
	14:00~17:00	交流センターほか	横濱音泉倶楽部クリニック		※
12/5(日)	13:30~15:30	大ホール	大いなる秋田大演奏会	無料	

※横濱音泉倶楽部委託料2,200千円

事業説明書

10 款 5 項 6 目 14 事業

(施策の大綱) 芸術、文化の振興

(施策) 文化財の保存、整備、活用の推進

(基本事業) 文化財を活用した地域づくり

継続

課所名：生涯学習部 文化財課

『事業名』 **弘田柵跡環境整備事業費**

【R3年度】 **65,463** 千円 【R2年度】 **6,634** 千円 【増減額】 **58,829** 千円

※R3年度事業費の財源内訳

国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
27,560		36,800		1,103

1. **Plan** (計画：事業の目的及び目標)

史跡内復元建造物等再整備計画（令和2年度策定）に基づき、過去の環境整備事業によって史跡内に復元整備した外柵南門等について、使用木材の長寿命化及び耐震化、並びにバリアフリー化対策などの再整備を実施し、史跡公園の安全性、利便性を向上することを目的とする。

- 設定期間：令和3年度～令和8年度
- 目標数値：令和3年度末事業進捗率 約19.5%（全体事業費330,000千円のうち64,364千円）

2. **Do** (実行：これまでの実績と成果)

- ・昭和57年度から継続して実施している史跡の環境整備によって、県内外から年間約3万～3万5千人（案内所見学者約1万人、史跡公園利用者約2万～2万5千人）が訪れ、総合学習や生涯学習、市民の憩いの場、催事開催、グラウンドゴルフなど多目的に利用されている。
- ・第3次環境整備計画に基づき、平成24年度～平成25年度には外郭北門の復元整備、平成28年度～平成29年度には北大路等整備工事を行い、主に史跡の北東部における環境整備を実施した。

3. **Check** (評価：問題と課題)

- ・事業が長期に渡っており、第3次環境整備計画の完成前に復元外柵南門など過去に復元整備した建造物等が老朽化し、見学者の安全を確保するため再整備を優先して行う必要が生じている。
- ・第3次環境整備計画（外郭北東部を中心とする史跡全体の整備）の終期（令和5年度）が近づいているが、他の事業との兼ね合いによって未実施事業が多くあるため、事業実施期間や内容の見直しを行う必要がある。なお、事業期間の延長（10年間程度）を文化庁と協議中である（内諾あり）。

4. **Act** (改善：今後の方向性とR3年度事業の概要)

上記の問題・課題を解決するため、復元外柵南門など復元建造物等の再整備を優先的に行う。

【令和3年度】

事業内容	事業費(千円)	備考
復元外柵南門再整備工事 (工事監理・設計監理含む)	64,363	令和3年度：第一期工事 令和4年度：第二期工事
弘田柵跡環境整備審議会 開催経費 ほか	1,100	審議会委員報酬・旅費 ほか

【令和4年度以降】

再整備予定箇所\年度	R4	R5	R6	R7	R8～
外柵南門	再整備工事	※実施設計完了済(H29)			
	49,316	再整備は2箇年で実施予定			
南大路東建物	実施設計	再整備工事			
	5,000	50,000			
外郭南門・石畳	地質調査	実施設計	再整備工事		
	2,500	2,500	25,000		
外郭西門			実施設計	再整備工事	
			2,000	12,500	
政庁東方建物群				実施設計	再整備工事
				5,000	125,000

事 業 説 明 書

10 款 5 項 6 目 17 事業

(施策の大綱) 芸術、文化の振興

(施策) 文化財の保存、整備、活用の推進

(基本事業) 文化財を活用した地域づくり

継続

課所名：生涯学習部 文化財課

『事業名』 **旧池田氏庭園整備事業費**

【R3年度】 **12,536** 千円 【R2年度】 **16,362** 千円 【増減額】 **△ 3,826** 千円

※R3年度事業費の財源内訳

国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
6,080		4,700		1,756

1. **P l a n** (計画：事業の目的及び目標)

名勝庭園の景観を保持しながら、築庭当時の景観復元整備を行い広く活用できる文化財として観光的視点を取り入れつつ整備を進め、地域振興を図る。全体計画（マスタープラン）である保存整備管理計画（文化庁承認）に基づき、平成16年度から令和15年度までの30年間で10年毎に3期に区分し、国庫補助事業を活用し年次計画で整備を進める。
概算での全体計画事業費は10億円（文化庁承認額）となっている。

2. **D o** (実行：これまでの実績と成果)

平成20年度以降の実績は下記の一覧表のとおりである。

庭園の保存整備と活用整備を進めることで県内外からの誘客に対応することができ、文化財の保護並びに観光資源として活用することが可能となる。

(参考)平成20年以降の来園者数と事業費一覧

(単位：人、千円)

	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	延べ合計
来園者数	8,692	10,960	10,635	23,983	21,931	23,634	22,783	16,732	11,947	12,781	14,075	10,915	5,429	194,497
事業費	62,000	59,000	58,500	65,000	48,750	108,903	82,455	21,589	15,466	14,727	26,135	2,395	16,362	581,282

※H16～R2の事業費：752,848千円

3. **C h e c k** (評価：問題と課題)

- ・ 今後の修復工事開始までの間、内蔵3棟外壁の漆喰と土壁の剥離抑制対策が必要となっている。
- ・ 整備期間が30年と長く、既に整備が終了した施設の維持管理費、修繕費（洋館等）、植栽の更新が必要となっている。
- ・ 旧宅（穆如亭）が年々老朽化している。
- ・ 年々来園者が減少している。※R2年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響により大幅減

4. **A c t** (改善：今後の方向性とR3年度事業の概要)

【令和3年度の事業概要】

■庭園整備 … 12,237千円

庭園保存修復事業実施設計業務委託	2,343 千円
庭園保存修復事業分家庭園地形測量等業務委託	6,347 千円
庭園保存修復事業毎木調査業務委託	1,716 千円
庭園保存修復事業修復基本計画書印刷製本費	1,540 千円
池泉汚泥清掃業務委託（本家庭園）	291 千円

■その他経費（審議会開催等） … 299千円

これまで実施できなかった庭園の修復について、令和2年に策定した修復基本計画に沿って修復工事を進めていく。令和3年度は、修復工事に係る実施設計及び地形測量・毎木調査を行う。

今後、年次計画で庭園修復と残る内蔵3棟の外装修復を進め保存を図りつつ、本庭園を市民の憩いの場や催事会場として多目的に活用することで交流人口の拡大を目指し、広域的な観光連携を推進する。

事 業 説 明 書

10 款 5 項 6 目 27 事業

(施策の大綱) 芸術・文化の振興

(施策) 文化財の保存、整備、活用の推進

(基本事業) 文化財を活用した地域づくり

継続

課所名：生涯学習部 文化財課

『事業名』 角間川・川のまち歴史交流の杜整備事業

【R3年度】 15,144 千円 【R2年度】 10,288 千円 【増減額】 4,856 千円

※R3年度事業費の財源内訳

国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
4,728		2,800	1,500	6,116

※教育文化基金繰入金

1. P l a n (計画：事業の目的及び目標)

東北地方を代表する雄物川舟運の歴史を伝える「角間川の旧家群」を活用し、地域の歴史と交流をキーワードとした地域活性化拠点エリアを整備する。

国登録有形文化財の旧本郷家住宅をはじめとした秀逸な近代建造物群を周知し、エリア内へ案内所等の便益施設を計画的に整備しながら、地域文化向上と広域的な文化財活用型観光交流を推進する。

●目標：年間来館者数3,000人（美郷町指定文化財「坂本東嶽邸」と同等）

2. D o (実行：これまでの実績と成果)

平成29年度に三家の敷地・建造物の公有化を完了した。平成30年度には旧荒川家住宅を大規模改修し、案内所・トイレ機能を完備した便益施設が完成した。令和元年度～令和2年度は、屋根・門・塀の修繕や外構整備を実施し、安全対策を行った。また、令和2年度には1,388人が来館した。

年度	H28～H30	R1	R2
実績	三家：土地・建物公有化等 本郷家：公開対応改修 荒川家：大規模改修、トイレ整備	建造物：門・塀等修繕 本郷家：屋根雨漏り修繕 外 構：コンクリート舗装等	本郷家：屋根塗装修繕 北島家：屋根改修（1期） 建造物：塀修繕等
成果	H30来館者2,623人（56日間）	来館者3,759人（170日間）	来館者1,388人（162日間）

3. C h e c k (評価：問題と課題)

- ・建造物群の老朽化が進んでおり、安全確保の観点から早急に改修する必要がある。
- ・内蔵の収蔵資料を整理するマンパワーが不足しており、すべてを公開するまでには時間を要する。

4. A c t (改善：今後の方向性とR3年度事業の概要)

【今後の方向性】

- ・事業期間：【前期計画】平成28～令和2年度・・・保存整備・公開準備（主にハード整備）
【後期計画】令和 3～令和7年度・・・公開と組織整備（主にソフト事業）
- ・総事業費：245,000千円

【令和3年度事業概要】

(単位：千円)

項目	実施内容	事業費
建造物改修	本郷家消防設備設置工事、本郷家屋根塗装修繕	7,343
展示整備・調査	本郷家保存活用計画策定、展示製作、市名勝指定に向けた調査	1,730
外構整備	荒川家外構整備工事（1期）	814
設計監理	本郷家消防設備設置工事設計監理・工事監理	394
管理費	維持管理、公開管理等	4,863
	合計	15,144

【令和4年度以降事業概要】

(単位：千円)

年度	項目	R4年度	R5～R7年度
主な整備事業内容	建造物	北島家屋根改修(2期)等	6,384
	外 構	荒川家外構整備(2期)	2,660
	展示・調査	説明板製作、調査	100
	合計	9,144	8,441

事 業 説 明 書

10 款 6 項 1 目 17 事業

(施策の大綱) スポーツの推進

(施策) スポーツ機会の拡大と環境の整備

(基本事業) スポーツによる地域の活性化

継続

課所名：生涯学習部 スポーツ振興課

『事業名』 多目的人工芝グラウンド整備事業

【R3年度】 42,051 千円 【R2年度】 7,834 千円 【増減額】 34,217 千円

※R3年度事業費の財源内訳

国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
		34,300		7,751

1. Plan (計画：事業の目的及び目標)

少子高齢化や人口流出などの課題を抱える中、老若男女が集い様々なスポーツを行える環境を整備することにより、本市の活性化や魅力的なまちづくり、市民の健康増進の場となる多目的人工芝グラウンドの整備事業を推進する。

2. Do (実行：これまでの実績と成果)

多目的人工芝グラウンド候補地検討委員会を設置し、市内全地域を対象に、利便性、緊急車両の到着時間など様々な項目を加味した候補地選定を行い、仙北ふれあい体育館横に決定となった。令和2年度には地形測量業務委託、不動産鑑定業務委託を実施している。また、第1回地権者説明会を行ったところ、事業実施について概ね了承との回答を頂いており、令和5年春からの供用開始にむけた事業推進を行っている。

3. Check (評価：問題と課題)

建築物価等の高騰による事業費の増大が懸念されることや、完成後の維持管理費を抑制しながら、長年にわたりより良い環境を維持し、利用者数及び利用料収入の増大に努める必要がある。

4. Act (改善：今後の方向性とR3年度事業の概要)

今後、多目的人工芝グラウンドの令和5年春の供用開始にむけ、基本設計等の各業務委託、用地取得、土木工事等を実施する。
 なお、各業務が令和2年度から令和3年度にまたがることから令和2年度からの継続費を設定している。

【継続費の設定】

(単位：千円)

調査業務等	継続費 総 額	年度割額	
		R2年度	R3年度
○基本設計委託業務 (多目的人工芝グラウンド)	7,381	1,476	5,905
○実施設計委託業務 (多目的人工芝・仙北テニスコート)	21,076	4,215	16,861
○路線測量委託業務 (多目的人工芝グラウンド)	1,903	190	1,713
○地質調査委託業務 (多目的人工芝グラウンド)	12,430	1,243	11,187
○用地測量委託業務 (多目的人工芝グラウンド)	7,095	710	6,385
合計	49,885	7,834	42,051

【今後の計画】

多目的人工芝グラウンド

- ・令和3年度 用地関係業務、地盤改良、土木工事等
- ・令和4年度 土木工事、建設工事等
- ・令和5年度 供用開始 (予定)

事 業 説 明 書

10 款 6 項 1 目 21 事業

(施策の大綱) スポーツの推進

(施策) スポーツ機会の拡大と環境の整備

(基本事業) スポーツによる地域の活性化

継続

課所名：生涯学習部 スポーツ振興課

『事業名』 **全国500歳野球大会関係費**

【R3年度】 **5,840 千円** 【R2年度】 **5,840 千円** 【増減額】 **0 千円**

※2年度事業費の財源内訳

国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
			5,840	

1. Plan (計画：事業の目的及び目標)

「野球に燃える親父たちの甲子園」のキャッチフレーズのもと、高齢者が野球を楽しみながら健康づくりを行うことをモットーに、500歳野球の全国大会を継続して展開する。生涯スポーツとしての野球を楽しみながら、長寿社会の形成に資することを目的とし、併せて地域知名度の向上と観光宣伝及び特産品PRを通じて地域の活性化を図る。

2. Do (実行：これまでの実績と成果)

【令和元年度 第3回全国500歳野球大会】

期 日	令和元年7月13日(土)～15日(月) 開会式：7月12日(金)
会 場	大仙市総合公園野球場(主会場)、神岡野球場、八乙女球場、協和野球場、太田球場、仙北球場(全6会場)
出場チーム	32チーム(県外からは交流都市を含む、1道10県22チーム、475人が参加)
試合数	本戦トーナメント31試合。1回戦敗退県外チームと市内チームによる交流戦6試合実施
観光・物産おもてなし	歓迎レセプションで花火鑑賞、特産品お土産、特産品弁当の注文販売、出場チームの宿泊先については市内温泉施設を優先的に配宿

3. Check (評価：問題と課題)

- より多くの都道府県からの参加を目標としているが、50歳代以上の野球大会は全国的に少なく、各地域でそれぞれの組織が独自の大会を実施しているのが現状であるため、情報提供を末端組織まで幅広く発信していくことが重要である。
- 大会の開催は、本市の知名度を上げる良い機会となるため、花火鑑賞や特産品販売等、関係機関と連携してホスピタリティ面も充実させ、出場チームのリピート率の維持と応援で訪れた選手の関係者も楽しめる大会として確立させたい。

4. Act (改善：今後の方向性と3年度事業の概要)

大会終了後に出場チームに対して毎回アンケート調査を実施し、大会運営面やおもてなしの部分に関する感想や要望について取りまとめ、次年度の大会に反映させている。全国大会は中高齢者が生涯スポーツとしての野球を楽しみながら、開催地周辺の観光や物産を融合させる「大仙市版スポーツツーリズム」として取り組んでいく。

【令和3年度 第4回全国500歳野球大会】

期 日	令和3年7月17日(土)～19日(月) 開会式：7月16日(金)
会 場	大仙市総合公園野球場(主会場)、神岡野球場、八乙女球場、協和野球場、太田球場、仙北球場(全6会場)
出場チーム	32チーム(国内八地方からの出場チームを目標とする)
試合数	本戦トーナメント31試合。1回戦敗退県外チームと市内チームによる交流戦

- 目標：県外参加チーム数：25チーム(令和元年度比+3) 県外チーム登録者数：540人(令和元年度比+65) 大会期間中延べ宿泊者数：600人(令和元年度比+82人)

事 業 説 明 書

1 款 1 項 1 目 10 事業

(施策の大綱) スポーツの推進

(施策) スポーツ機会の拡大と環境の整備

(基本事業) スポーツ施設の整備充実

継続

課所名：生涯学習部 スポーツ振興課

『事業名』 **スキー場運営費**

【R3年度】 **33,361** 千円 【R2年度】 **39,315** 千円 【増減額】 **△ 5,954** 千円

※R3年度事業費の財源内訳

国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
			28	33,333

1. P l a n (計画：事業の目的及び目標)

豊かな冬の特典を活かし、市民及び誰もが個々の年齢や健康・技術に合わせて気軽に主体的・継続的に楽しめる生涯スポーツの場を提供する。
 地域が持つ豊かな資源及び自然環境を最大限に活用し、地域経済の活性化、冬季スポーツの充実、市民の健康増進などに資する。

2. D o (実行：これまでの実績と成果)

指定管理者が、各スキー場独自のイベントや教室を開催するなど集客に努めており、降雪量が安定したシーズンは、県内でも上位の利用者数を確保することが可能となっている。令和元年度は、積雪不足により大台スキー場だけが令和2年1月3日～7日まで営業が可能だったが、他のスキー場は全く営業することが出来ず、1月31日をもって、全スキー場の営業を終了とした。

●スキー場別利用客数、()内はリフト輸送人員の県内順位 (単位：人)

年度	県内数	大曲	協和	大台	合計	前年比
R1	14	0(12)	0(12)	2017(5)	2,017	4%
H30	15	9,807(12)	25,437(4)	21,705(5)	56,949	97%
H29	16	9,721(12)	27,745(4)	20,990(5)	58,456	127%

●スキー場別修繕費、工事費実績 (単位：件、千円)

年度	大曲		協和		大台		合計	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
R1	3	7,517	3	5,787	3	2,067	9	15,371
H30	3	5,747	7	36,829	4	10,541	14	53,117
H29	10	25,888	6	7,429	5	10,871	21	44,188

3. C h e c k (評価：問題と課題)

- ・現在は各スキー場ともに指定管理者が、管理・運営にあたっているが、積雪不足等の影響による営業日数不足が毎年懸念されている。
- ・リフト等の施設の老朽化が進んでいるため、運営に当たっては常に安全安心を最優先に考え、事故や災害等の緊急時には迅速かつ適切な対応ができる体制を整え、健全なスキー場運営を目指す。

4. A c t (改善：今後の方向性とR3年度事業の概要)

【令和3年度 各スキー場事業費】 (単位：千円)

スキー場名	委託料 (指定管理料等)	使用料 (圧雪車リース等)	その他	合計
大曲スキー場	8,877	464	25	9,366
協和スキー場	4,540	11,695	59	16,294
大台スキー場	7,372	276	53	7,701
計	20,789	12,435	137	33,361

各スキー場は、レンタル用品や売店、レストラン等の内容も充実しており、リフト券の販売に関しても利用者ニーズに対応して、多用な券種、宿泊パック等を設定している。
 今後も指定管理者による民間のノウハウを活用した効率の良い運営で集客の拡大を図り、オン・オフシーズンの営業方法や来場者サービス等について三スキー場が連携して取り組んで行く。